

大庭小だより

NO. 2

2026年5月1日

校長 澤野 美奈子

未来へ羽ばたけ大庭っ子！

早いもので、2026年度が始まって1ヶ月がたちました。ピカピカのランドセルがまぶしい1年生も、もうすっかり大庭っ子になりました。どの教室をのぞいても、背筋を伸ばして担任の話を聞いている子、手を挙げて自分の考えを話す子・・・学年が1つ上がり、子どもたちが前を向いてがんばろうとしている姿が見て取れます。この気持ちがいっまでも続きますように、と私たちは願いますが、子どもたちの行く道は「山あり谷あり」です。それでも1年前を思えば、ペースは人それぞれですが、子どもたちの成長を感じる場面がきっとあるかと思えます。5月の空を雄大に泳ぐ鯉のぼりのように、子どもが力強く成長し、未来へ向かって羽ばたけるよう、子どもたちを支えていきたいと思えます。



【お知らせとお願い】

○校庭開放について

藤沢市では市立小学校の校庭を、第1・第3・第5土曜日の午前中に子どもたちに開放しています。特別な場合を除き、利用団体への貸し出しは行っていません。校庭開放時は子どもたちの様子を見守る人がいませんので、安全に留意して遊ぶようご家庭でもご指導ください。

※夏休み、冬休み、春休み期間中の校庭開放はありません。

※学校の事情で校庭が使用できない場合もあります。



○「大庭小学校のきまり」について

登下校中、学校にいる時、放課後等、子どもたちが安全に気持ちよく過ごすためのルールについて今一度ご確認ください、ご家庭でお子さんと話し合ってください。

○校帽について

校帽は頭の保護の他に、熱中症の防止や防寒、校外学習の際に本校の児童であることの目印になる等、様々な役割があります。登下校時は、校帽をかぶるよう学校で指導しています。ご家庭でも、校帽の確認をして送り出してくださいようお願いします。



○見守り用 GPS 機器について

お子さんの安全確認のために GPS 機器を持たせる場合は、登校時にランドセルの中に入れ、学校にいる間は取り出さないようご指導ください。会話機能がついているものも学校では使用せず、GPS 機能にてご確認ください。8:30に登校が認められない場合は、学校から電話で所在の確認をしております。ご理解とご協力をお願いいたします。

○お子さんの学校生活の様子をお伝えするために、ホームページや学校だよりなどで写真を掲載することがあります。個人が特定されることのないよう配慮した上で掲載しますが、写真の掲載を望まないご家庭は、担任にお伝えください。

いつも見守っていただきありがとうございます・・・

本校では、子どもたちの登下校時の見守り活動に保護者や地域の方々にご協力をいただいています。

◇おはようボランティア

保護者や地域の方々を中心にご自宅の近くや交通量の多い場所で、登下校時にあいさつを呼びかけたり、交通安全指導を行ったりしていただいています。

◇スクールガードリーダー

スクールガードリーダーは学校安全のため、担当地区内の小学校や通学路を見守り、巡回指導や助言を行います。

本校では毎週木曜日の登下校時に、正門前で交通安全指導を行っていただいています。

◇青少年指導員

青少年の健全育成と非行防止を目的とし、主に地域のパトロールや講習会、イベントなどにご協力いただいています。



児童支援担当を紹介します！

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

児童支援担当として、子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送り、自分らしく成長していけるよう支援に努めております。子どもたちは日々さまざまな思いや悩みを抱えながらも、友達や先生との関わりの中で、少しずつ力を伸ばしています。学校では、子どもたちの小さな変化や頑張りを大切にしながら、困り感に寄り添い、安心できる環境づくりを心がけてまいります。また、ご家庭との連携を何よりも大切にしておりますので、気になることやご相談がありましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。

スクールカウンセラーは第1・3週の水曜日、毎週金曜日に勤務しております。

今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学校教育目標〈めざす子ども像〉が決まりました

昨年度、本校は創立50周年を迎えました。これを機に、学校教育目標の見直しを図ってまいりました。創立以来続く「心豊かな子」は、これからも育みたい大庭の子ども姿として、そのまま継続します。めざす子ども像について、保護者のみなさまと教職員にアンケートを実施し、「心豊かな子」とは具体的にどのような子どもと考えるか、今の大庭の子どもたちに育てたい力はどのような力か、ということをお聞きしました。すると、「人を思いやる力」「互いを受け入れる力」など、これからの共生社会を生きる子ども達に必要な力を身につけてほしい、という声が多く聞かれました。

このことを受けて、学校教育目標及び「めざす子ども像」を、次のように決めました。

学校教育目標「心豊かな子」

〇めざす子ども像

- ・ 心とからだを 大切にする子 <自己肯定感・生きる力の土台・命の大切さ>
- ・ 自分で考えて 行動する子 <自主・自律・責任感>
- ・ みとめ合い 思いやる子 <他者理解・受容・共生>

<めざす子ども像について>

「心とからだを 大切にする子」

「自分を好きになる」「自分に自信をもつ」「自分自身を大切にする」ことで子どもは心身ともにすこやかに育つと考えます。自分のことがイヤで自信が無ければ、「やってみよう」という意欲や前向きな考えをもち、それを実行することはできません。自分を大切にできなければ、他者を思いやり、大切にすることはできません。「①心とからだを 大切にする子」が子どもたちの生きる力の土台となり、その上に「②自分で考えて 行動する子」「③みとめ合い 思いやる子」が積み重なっていくイメージです。土台作りは学校だけでできるものではありません。学校と家庭・地域の連携が必要となります。



「自分で考えて 行動する子」

これからは予測困難の時代と言われ、これまでの慣例や常識が通用せず「想定外」が起こることが予想されます。そのような時代を生きる子どもには、様々な情報について根拠をもって取捨選択し、多様な価値観を受け入れながら、主体的に自分の考えを発信し、行動する力が必要だと考えます。考えは一つではなく、人それぞれの考えや価値観があり、「みんな違って みんないい」と受け止められる柔軟な心を育てたいと思います。



「みとめ合い 思いやる子」

共生社会の担い手となる子どもたちには、周りに対する思いやりをもち、他者と関わり合いながら、互いを認め、高め合う力をつけてほしいと思います。年齢・性別・国籍等を超えて、様々な人と出会い、自他を大切にする子を育てたいと思います。

なお、学校経営の基本方針として、「①教育課程の充実」「②支援教育の推進」「③安心・安全な学校づくり」「④地域と共に歩む学校づくり」「⑤持続可能な教育環境の実現」の5つを柱として、学校を運営してまいります。2026年度は「③安心・安全な学校づくり」を重点目標として掲げ、具体的には次のことに、力を注いでまいります。

- ・ 有事の際に児童自らが適切に判断し、主体的に行動できるように、「安全教育」を推進する
- ・ 学校安全のための校内組織体制を整備し、「安全管理」の充実を図りながら、地域や関係機関等との連携をめざす
- ・ 相談できる体制やチーム支援の充実を図り、児童・保護者に寄り添いながら、いじめ防止や不登校支援等を行う

これからも、保護者や地域の皆さまと共に、学校教育目標「心豊かな子」の育成に向けて力を尽くしてまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

